

4 個性と魅力あふれる地域づくり

(1) 活力ある地域づくりの推進

県民の参画による個性豊かな地域づくり

創意と工夫による地域の個性づくりの推進

各地域における創意と工夫により、自然や歴史・文化などの地域の資源や特性を生かした個性豊かで魅力的な地域づくりを積極的に進めます。

また、地域づくり活動の担い手となるリーダーや団体の育成、地域づくりに関する情報の提供や情報発信力の強化に努め、官民一体となった地域づくりを促進するとともに、地域振興に特に功績のあった個人や団体を顕彰し、県民意識の高揚や地域づくり活動の促進を図ります。

さらに、県内各地にある歴史資源を有機的に連携させる「ひむか歴史ロマン街道」の形成や、地域資源を最大限活用した個性あるむらづくり推進のための「プラスワンむらづくり支援事業」など様々な地域資源を活用した広域的な地域づくりを進めます。

(2 2 億 1 , 0 7 6 万円)

▶ 県民運動の展開による地域づくりの推進

県民の意欲と連帯を基調とする「新ひむかづくり運動」の更なる進展を図るために「21新ひむかづくり実践活動促進事業」を実施し、地域づくりを行う団体の活動を支援します。

また、運動の推進母体となる「新ひむかづくり運動県民会議」及び「市町村民会議」の活動を支援することにより、県民が主役となった地域づくりを進めます。

(2 億 4 , 2 7 5 万円)

▶ 県民の社会参画の促進と環境整備

ボランティア基金を活用した事業等を通じて、ボランティア活動に関する拠点の整備や活動支援、広報啓発等を総合的に推進し、地域住民を含めた多様な主体が社会参画しやすい環境づくりを進めます。

また、ボランティア活動を含め、県民の自発性に基づく公益的な社会貢献活動を行うNPO活動の活性化を図るため、NPO活動に関する入門講座に加えて、人材育成を図る実務研修を行います。

(4 億 8 6 1 万円)

農山漁村地域の活性化

若者が定住し活力ある農山漁村を創造するため、地域資源を生かした都市住民との特色あ

る交流活動の展開や新たな就業機会を創出する取組みを進めるとともに、定住条件の整備や国土保全奨励制度及び中山間地域等直接支払制度の推進を図ります。

都市と農山漁村の交流の促進

豊かな自然環境、農林水産物、歴史、伝統文化や美しい景観などの地域資源を生かして、地域の魅力の創出やふるさと産業など独自の産業の育成により、交流人口の増加や就業機会の拡大を図るとともに、グリーン・ツーリズム等による都市と農山漁村の交流の取組みを進めます。

(19億9,853万円)

▶農山漁村地域の定住条件の整備

山村地域におけるトイレの水洗化を進めるための「国土保全林業集落定住環境整備事業」等を実施し、山村地域における生活の改善に努めます。

また、過疎・山村地域における集落環境を整備するため、「水源地整備治山事業」により取水施設等の整備を図るとともに「山村集落機能保全事業」による防災施設等の設置など、山村住民の定住促進に努めます。

(54億9,345万円)

国土保全奨励制度の推進

平成14年度策定の「国土保全奨励制度推進プログラム」に基づき、国土保全の推進に必要な新たな政策等の導入を図る「システムづくり」、国土保全の担い手の確保等を図る「人づくり」、国民の合意形成を図る「意識づくり」、定住環境の整備等を図る「基盤づくり」の4つの視点から「森林・農地が公益的機能を発揮するための環境づくり」を進めるとともに、「地球温暖化防止に貢献する森林づくり」、「重視すべき機能に応じた森林づくり」、「県民参加の森林づくり」、「地域が支える健全な森林・農地づくり」によって、「森林・農地が公益的機能を発揮するための郷土づくり」を進めます。

また、中山間地域等において、農業生産の維持を図りつつ、耕作放棄を防止し多面的機能を確保する観点から、中山間地域等直接支払制度を推進します。

(140億3,427万円)

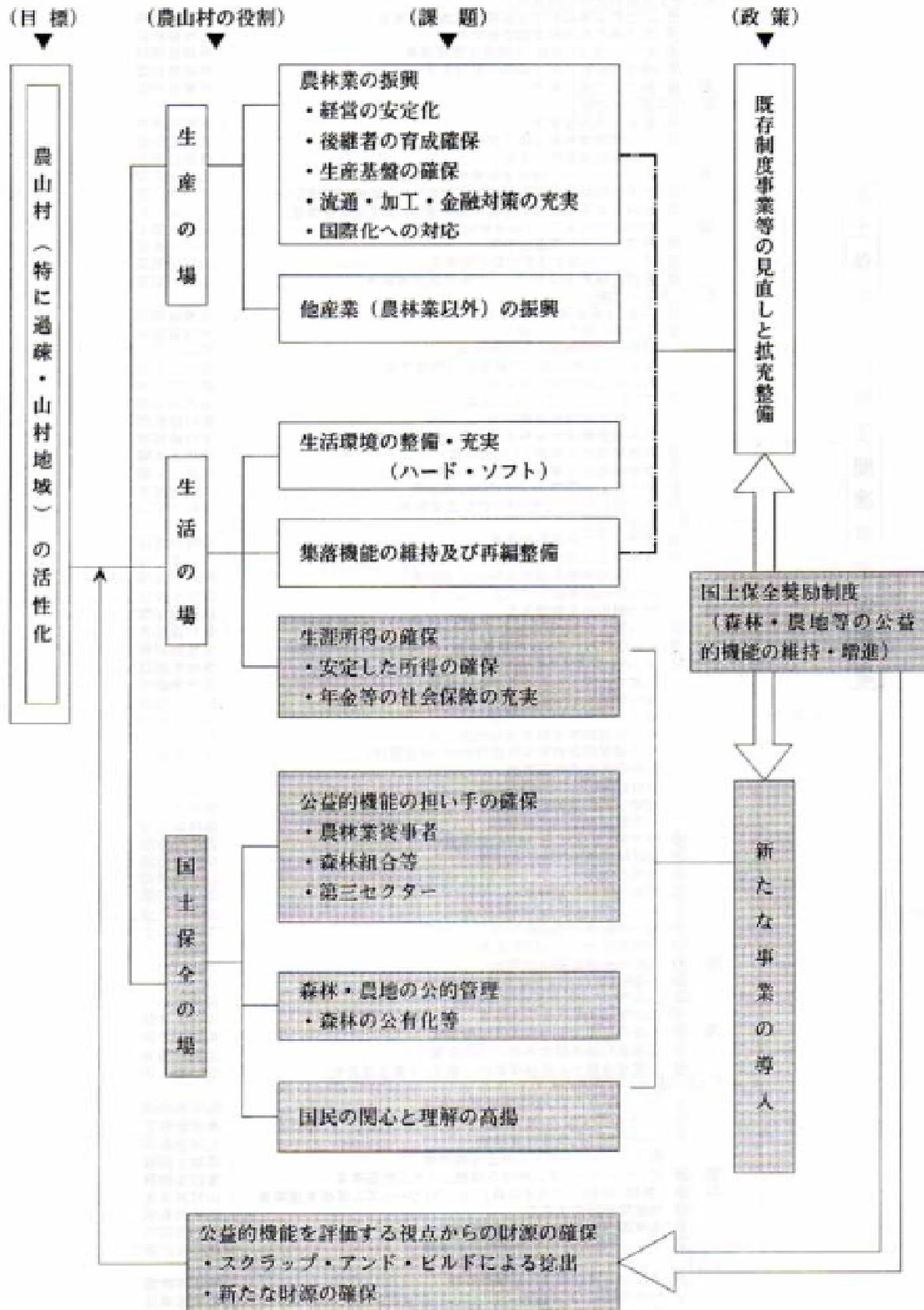
▶フォレストピア宮崎構想の推進

森林と人間の共生する森林理想郷を目指すフォレストピア宮崎構想の具現化を図るため、県北5町村（高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町、諸塚村、椎葉村）から成るモデル圏域での自主的な取組みを支援するとともに、その理念の全県的な展開を図ります。

モデル圏域において培われた地域産業の振興や都市との交流等のノウハウを活用して、特産品開発を目指す加工グループへの支援や森林・林業を通じた山村体験交流等の取組みを進めます。

(4億3,494万円)

国土保全奨励制度の視点



平成16年度 国土保全奨励制度関連事業体系表

国土保全奨励制度関連事業の推進

70 事業

国土保全奨励制度の研究推進		
①	国土保全奨励制度全国研究協議会推進費	(地域振興課)
②	国土保全奨励制度調査研究事業	(地域振興課)
③	もりとふるさとの日・月間普及啓発事業	(地域振興課)
④	国土保全奨励制度戦略的展開事業	(地域振興課)
⑤	緑の国土保全事業	(地域振興課)
農山村の若い子対策		
⑥	総合産業支援事業	(地域振興課)
⑦	中山間地域新農業者育成支援事業	(農政企画課)
⑧	中山間地域活性化資金	(農業経済課)
⑨	ニューファーマー確保育成総合支援事業	(営農指導課)
⑩	効率的飼料生産体制整備促進事業(中山間地域整備型)	(畜産課)
⑪	飼料生産受委託体制整備促進事業(中山間地域整備型)	(畜産課)
⑫	森林組合改革プラン促進総合対策事業	(山村対策室)
⑬	林業担い手対策基金事業	(山村対策室)
⑭	はつらつ林業女性等活動促進事業	(山村対策室)
⑮	意欲的起業後継者グループ等育成対策事業	(山村対策室)
農山村生活の充実		
⑯	ふるさと再生運動促進事業	(地域振興課)
⑰	活力ある集落づくり事業	(地域振興課)
⑱	移動通信用鉄塔施設整備事業	(情報政策課)
⑲	民放テレビ放送新視聴解消施設整備事業	(情報政策課)
⑳	特定農山村総合支援事業	(農政企画課)
㉑	プラスワンむらづくり支援事業	(営農指導課)
㉒	中山間地域総合整備事業	(農村建設課)
㉓	林業経営構造対策事業費補助金(給水施設等)	(木材振興課)
㉔	県庫補助治山事業(水源地域整備)	(森林土木課)
㉕	県庫補助治山事業(山村集落機能保全)	(森林土木課)
㉖	国土保全林業集落定住環境整備事業	(山村対策室)
㉗	山村定住「みやざきの家」建設支援事業	(建築住宅課)
森林等の管理の推進		
㉘	環境保全の森林整備事業	(環境政策課)
㉙	環境保全の森林整備事業(公営企業会計)	(企業局)
㉚	中山間地域等直接支払制度推進事業	(農政企画課)
㉛	中山間地域等直接支払基金積立会	(農政企画課)
㉜	農地棚田保全整備事業	(農村建設課)
㉝	中山間ふるさと保全基金事業	(農村建設課)
㉞	水と緑のみやざき農村整備事業	(農地整備課)
㉟	ふるさと林道緊急整備事業	(農地整備課)
㊱	県営中山間地域総合農地防災事業	(農地整備課)
㊲	森林整備地域活動支援交付金事業	(林政企画課)
㊳	森林資源モニタリング調査	(林政企画課)
㊴	森林整備地域活動支援基金積立会	(林政企画課)
㊵	林業経営構造対策事業費補助金(林道開設)	(木材振興課)
㊶	公的森林整備推進事業	(森林保全課)
㊷	森林機能保全緊急整備事業	(森林保全課)
㊸	流域公益保全林整備事業	(森林保全課)
㊹	流域循環資源林整備事業	(森林保全課)
㊺	みやざき悠久の森づくり推進事業	(森林保全課)
㊻	新林地保有合理化促進事業	(森林保全課)
㊼	林業公社費	(森林保全課)
㊽	県民の森等整備事業	(森林保全課)
㊾	里山・景観の森づくり推進事業	(森林保全課)
㊿	県営林経営資源調査事業	(森林保全課)
①	分収林処分モデル調査事業	(森林保全課)
②	公的分収林管理改善事業	(森林保全課)
③	ふるさと林道緊急整備事業	(森林土木課)
④	ふるさと林道緊急整備促進事業	(森林土木課)
⑤	森林管理路網機能強化事業	(森林土木課)
⑥	水源林等環境保全緊急整備事業	(森林土木課)
⑦	広域森林組合経営合理化促進事業	(山村対策室)
⑧	企業局水源かん養林植樹林化事業(公営企業会計)	(企業局)
農山村と都市との交流の拡大		
⑨	ひむか歴史ロマン街道形成推進事業	(地域振興課)
⑩	「ひむか神話街道」魅力形成事業	(地域振興課)
⑪	「過疎力発揮」情報発信事業	(地域振興課)
⑫	新グリーン・ツーリズム総合推進対策	(農政企画課)
⑬	グリーン・ツーリズム地域内連携システム整備事業	(農政企画課)
⑭	「神話、伝説、くつろぎの森」フォレストツーリズム推進支援事業	(山村対策室)
⑮	地域間学校交流事業	(学校教育課)
⑯	地域連携機能強化道路整備事業	(道路建設課)
⑰	やすらぎ施設連携支援道路整備事業	(道路建設課)
その他		
⑱	過疎地域自立促進計画推進事業	(地域振興課)
⑲	宮崎県地域づくり顕彰	(地域振興課)
⑳	育英資金貸与事業	(学校教育課)

過疎地域等の活性化

過疎地域の自立的活性化

過疎地域においては、これまで、交通・情報通信体系や生活環境の整備をはじめ、産業振興等を総合的かつ計画的に実施してきたことにより、各種公共施設の整備水準が向上するなど成果を上げてきましたが、若年層を中心とした人口の流出や急速な高齢化の進行により地域の活力が低下してきています。

このため、平成12年度に策定した「第2次過疎地域活性化10年計画」を指針として、引き続き交通・情報通信基盤、生活環境基盤の整備など地域格差の是正に向けた総合的な振興策を進めるとともに、過疎地域の有する役割や特性など、地域が潜在的に有している「過疎力」を掘り起こし、発揮していく「ふるさと再生運動」を展開し、地域自らの創意と工夫による活性化の取組みを促進します。
(224億5,680万円)

過疎地域人口の推移

(単位：人、%)

		昭和60年		平成2年		平成7年		平成12年	
		人口	割合	人口	割合	人口	割合	人口	割合
過疎	若年者	26,616	14.5	21,176	12.2	19,320	11.8	19,290	12.5
	高齢者	29,493	16.1	33,975	19.6	40,322	24.7	45,768	29.6
	総人口	183,064	100.0	172,922	100.0	163,375	100.0	154,791	100.0
非過疎	若年者	184,915	18.6	181,071	18.2	189,207	18.7	185,599	18.3
	高齢者	111,254	11.2	132,564	13.3	163,900	16.2	195,986	19.3
	総人口	992,479	100.0	995,985	100.0	1,012,444	100.0	1,015,216	100.0
県計	若年者	211,531	18.0	202,247	17.3	208,527	17.7	204,889	17.5
	高齢者	140,747	12.0	166,539	14.2	204,222	17.4	241,754	20.7
	総人口	1,175,543	100.0	1,168,907	100.0	1,175,819	100.0	1,170,007	100.0

(注) 1 過疎地域21市町村

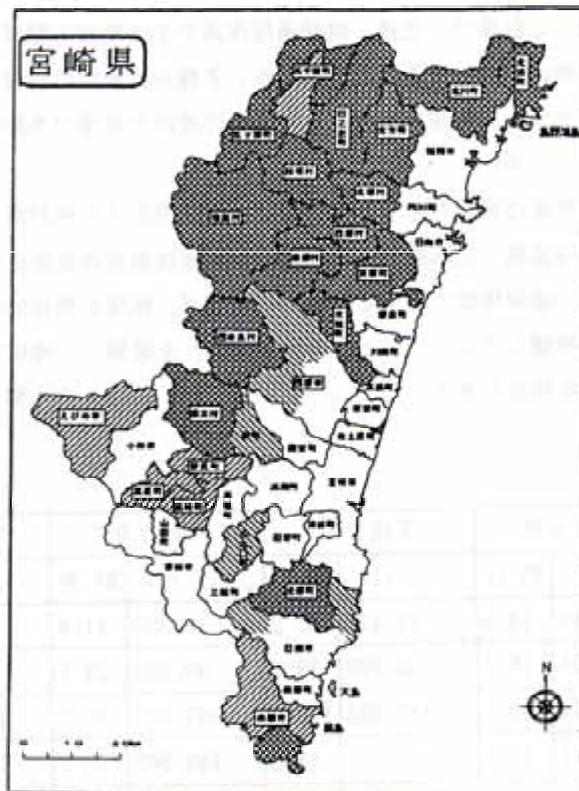
(国勢調査)

2 若年者：15～29歳 高齢者：65歳以上

山村、離島、半島振興対策等の推進

振興山村地域、離島振興地域、半島振興地域などの条件不利地域においては、山村振興計画、離島振興計画、半島振興計画等のそれぞれの計画に基づき、生産基盤や交通・情報通信基盤、生活環境基盤の整備充実とともに、定住条件の改善や就業機会の確保、都市との交流の拡大などを進めます。
(179億3,591万円)

過疎地域市町村・振興山村地域・離島振興地域・半島振興対策実施地域



○過疎地域自立促進特別措置法（平成12年3月法律第15号）に基づく市町村（21市町村）※12.4.1公示
過疎地域市町村 

○山村振興法（昭和40年5月法律第64号）に基づく地域
※昭40～47年度指定
〈21市町村（一部指定含む）〉
振興山村地域 

○離島振興法（昭28年7月法律第72号）に基づく地域
（3島） ※昭32・39年度指定
離島振興地域（島野浦島、大島、築島）

○半島振興法（昭60年6月法律第63号）に基づく地域
（2市町） ※昭60年度指定
半島振興対策実施地域（串間市、南郷町）

広域生活圏の形成

▶広域生活圏の形成

宮崎都市圏、都城、県北の地方拠点都市地域、南那珂、西諸県の地方中小都市圏や西都・児湯地域など各圏域の核となる中心都市について、都市機能の整備や都市空間の魅力向上を進めます。 (50億3,672万円)

▶広域行政の推進

合併特例法の期限が1年後に迫り、重要な時期を迎える市町村の合併に向けた取組みを積極的に支援します。 (5億2,018万円)

県境を越えた交流・連携の推進

高速交通体系などの整備にともない、県境を越えて人、物、資本、情報などの流れが活発化している中で、本県が活力ある地域として発展するとともに、九州全体の一体的な発展を図るため、東九州や南九州などの広域的な圏域において、さまざまな分野での交流・連携を進め、地域の持つ資源や機能の相互活用を図ります。

▶地域連携軸等の形成

隣県など関係地域と共同でさまざまなプロジェクトを展開することにより、東九州軸、南九州広域交流圏などの地域連携軸の形成を図ります。 (11億5,276万円)

(2) 地域の個性を生かした文化・生涯スポーツの振興

新たな地域文化の創造・発信

県総合文化公園一帯の芸術劇場、図書館、総合博物館や美術館などを拠点に、芸術文化の鑑賞・発表の機会や本県の歴史・文化の学習機会の拡充に努めるとともに、文化施設や文化団体などと連携しながら、地域文化の一層の振興を図ります。

▶多様な主体の参画による文化活動の促進

県立芸術劇場においては、国内外のトップ演奏家たちによる「宮崎国際音楽祭」を開催し、宮崎から世界へ向けた文化発信を行うとともに、質の高い舞台芸術の鑑賞機会の拡充を図ります。

県立美術館においては、「サントリーコレクション～西洋の美・日本の華」などの特別展を開催するとともに、県美術展ほかアトリエや県民ギャラリーなどを活用した県民の創作・学習・発表等の活動を促進します。

総合博物館では、「流失文化財を守れ - アフガニスタンそしてイラク展」などの特別展を開催するとともに、郷土に根ざした文化の向上に貢献する開かれた魅力ある博物館として、常設展示や博物館講座などの充実を図り、県民の幅広い層に対応できる学習の場を提供します。

考古博物館では、考古学や西都原古墳群への県民の理解や関心を深めるため、特別展や各種講座の充実に努めます。

また、より多くの県民や児童生徒が芸術文化を身近に鑑賞できるよう、県青少年芸術劇場、県青少年ミニシアター事業、古典芸能鑑賞促進事業、ふるさとファミリー劇場などを開催するとともに、県民が日頃の文化活動の成果を発表できるよう、県美術展や高等学校総合文化祭などを開催し、全国高等学校総合文化祭の誘致に取り組みます。

さらに、県内の文化ホールの共同企画により、質の高い公演を多くの県民に提供する「文化ホール連携プログラム事業」を実施します。

また、本県文化の向上発展に著しい業績をあげた人たちを顕彰する「県文化賞」や、本県出身の国民的歌人である若山牧水を顕彰し、短歌文学の発展に寄与することを目的とした「若山牧水賞」を実施します。

さらに、本県芸術文化を担う人材を育成するため、県内の優れた芸術家を海外に派遣する事業に助成するとともに、郷土で活躍する文化団体に活動発表の場を提供するなどの支援を行います。

(18億9,692万円)

▶文化の交流・連携と文化発信の促進

地域・世代・ジャンルを越えた交流・連携を促進するとともに、内外への情報発信に努め、地域文化の振興を図ります。

県総合文化公園一帯の文化施設の集積を生かし、幅広い世代が参加・交流し楽しめる「みやざき文化フェスティバル」を実施します。

また、全国の文化団体・サークル等の合宿を県内市町村に誘致し、文化活動を通じて地域との交流を深める「アートキャンプみやざき展開事業」を推進します。

さらに、全国的規模で文化活動を発表する場である国民文化祭への文化団体等の派遣や、高校生とその作品を派遣する全国高等学校総合文化祭等を通じて、様々な文化交流を促進します。
(8 億 9 9 6 万円)

多彩な文化の振興による地域づくり

県内各地の史跡や街並み、祭り、芸能などの有形・無形の貴重な文化遺産やくらしの中で育んできた生活文化を、地域の個性や魅力として再認識し、次世代へ継承するとともに、自然や歴史を大切にしながら、美しい景観やゆとりある生活空間の形成を進めていくなど、地域づくりの視点を含めた多彩な文化の振興に努めます。

▶文化を育む環境づくりの推進

文化に親しみ、文化を大切にするような気風の醸成を図るため、地域で文化講演会などを行う「みんなで創るみやざき文化セミナー」や「楠並樹コリドール」を開催し、さまざまな文化を身近に感じることができる環境づくりを推進します。

また、県立図書館では、21世紀に本県の目指す「人と自然の共生する地域環境づくり」に取り組む県民の環境学習を支援するために、自然と環境に関する資料を特別に収集し、特色ある「みどりの図書館」づくりを推進します。

さらに、環境緑化教育推進モデル校等に対する特別貸し出しを行い、21世紀を生きる子どもたちの環境教育・環境学習を支援します。
(1 1 億 7 , 9 4 7 万円)

▶文化遺産の保護・継承と活用

文化財の調査や情報の収集を行い、その適切な保護と活用を進めるとともに啓発活動の充実を図ります。

また、史跡等については、保存管理計画をもとに環境の整備に努めます。特に、特別史跡西都原古墳群については、計画的な調査に基づく一体的な保存整備を進め、総合的な活用を図ります。

さらに、伝統芸能保存振興事業や伝統的建造物群保存地区の保存事業等への助成をはじめ、

伝統文化地域間交流事業、諸開発事業に伴う発掘調査、指定古墳等再編活用事業及びふるさと宮崎文化財総合評価事業等の実施により、継続的に文化財の保護と活用に取り組んでいきます。
(17億1,473万円)

国指定等・県指定文化財一覧

国指定 選定登録	重要文化財	13件	旧黒木家住宅、旧藤田家住宅ほか
	重要有形民俗文化財	3	東米良狩猟用具ほか
	重要無形民俗文化財	5	米良神楽、高千穂夜神楽ほか
	特別史跡	1	西都原古墳群
	特別天然記念物	4	青島亜熱帯性植物群落ほか
	史跡	18	宗麟原供養塔・千畑古墳ほか
	名勝天然記念物	1	五箇瀬川峡谷（高千穂峡谷）
	名勝	3	妙国寺庭園ほか
	天然記念物	41	ノカイドウ自生地ほか
	重要伝統的建造物群保存地区	3	日南市飢肥、日向市美々津ほか
登録有形文化財	25	黒北発電所、めがね橋ほか	
	計	117	
県指定	有形文化財	50	男神像及び女神像ほか
	無形文化財	1	日向盲僧琵琶（延岡市）ほか
	無形民俗文化財	23	白太鼓踊（西都市）ほか
	史跡	96	榎田関跡、去川の関跡ほか
	名勝	7	須木の滝、勝目氏庭園ほか
	天然記念物	19	鶴戸千疊敷奇岩ほか
	計	196	

(平成16年4月1日現在)

生涯スポーツの推進

▶地域におけるスポーツの振興

スポーツを通じた県民の生きがいづくりや健康づくりを進めるとともに、スポーツイベントの開催による情報発信などスポーツを通じた地域づくりの取り組みを進めます。

また、県民が生涯を通じて、年齢や健康状態に応じてスポーツに親しめるよう、スポーツプログラムの開発普及やスポーツ教室・大会などの参加機会の拡充、啓発活動を推進します。

さらに、県民の誰もが参加できる総合型地域スポーツクラブの普及・育成を図るため、講演会や研修会を開催するとともに、本県にふさわしいクラブの育成を推進します。

(13億7,789万円)



県民体育大会

▶スポーツに親しむ環境づくりの推進

県総合運動公園をはじめとする各種スポーツ・レクリエーション施設の充実を図るとともに、市町村スポーツ施設の整備促進や学校体育施設の開放などに努めます。

また、地域のスポーツ指導者などの養成によりスポーツ指導体制の整備を進めます。

(1 4 億 1 7 9 万円)

(3) 地域に活力を生む国際交流・協力の推進

世界に開かれた地域社会の形成

地域レベルの国際化の進展に対応して、国際感覚豊かな人材や国際交流団体を育成するとともに、在住外国人も暮らしやすい環境づくりを進めるなど、世界に開かれた地域社会を形成していくための基盤づくりに努めます。

国際交流・協力を支える人材や団体の育成

(財)宮崎県国際交流協会と連携して、国際化を推進するリーダーや国際交流・協力団体を育成し、国際交流ボランティアの研修を行うとともに、県国際交流センターを中心として、関係団体やボランティアに対する情報提供などの活動支援を行います。

(1 億 4 , 3 9 6 万円)

外国人と県民とがともに暮らしやすい環境づくりの推進

外国人のための災害等の緊急時における通訳の養成、生活に必要な情報の外国語による提供、ボランティアと連携した生活・法律相談など、外国人が安心して生活できる環境づくりを強化します。

(2 億 3 , 5 7 4 万円)

地域に根ざした国際交流・協力の推進

諸外国との相互理解や国際協力に対応するため、親善交流をはじめ、教育・文化・経済など多分野の交流を行います。

多様な主体の参画による多彩な国際交流活動の推進

国際交流員等として県内に住んだことのある外国青年と帰国後も交流を続け、本県のよき理解者(宮崎親善大使)として本県と母国を結ぶかけ橋となってもらいます。

また、県国際交流センターに国際交流コーディネータを配置し、本県と関係のある人々や企業、諸団体等との結びつきを一層強めながら、国際交流センターにおける国内外の情報の受発信や国際交流に関する相談・調整などの機能の強化を進めます。

また、教育機関や民間国際交流団体など、多様な主体の参画による教育・文化・スポーツなどの多彩な国際交流活動を推進し、県民の国際理解の増進や地域の活性化を図ります。

さらに、理解講座や交流ツアー等を通じて、韓国との草の根交流の促進を図ります。

(4 億 6 4 7 万円)

▶地域の特性を生かした国際協力の推進

農林水産業等の先進的な技術の蓄積や太平洋・島サミット等の国際会議の経験などの本県の特性を生かしながら、アジア・太平洋地域等を対象に、技術研修員の受入や学術・技術交流などの国際協力を進めます。
(8 , 7 7 7 万円)



アンニョンハセヨ！
韓国理解総合支援事業



海外技術研修員の研修風景